

令和2年度 政策評価表

		作成日	令和2年8月24日
リーディングプロジェクト	元気でいきいき“健幸(けんこう)長寿のまち”の実現	ゼネラルマネージャー	健康推進部長
未来(あす)を紡ぐミーティング(ATM)メンバー	健康推進部長、経営企画部長、市民部長、福祉部長、環境クリーン部長、産業経済部長、街づくり計画部長、建設部長、教育総務部長		
幹事会メンバー	保健センター長、健康推進部次長、交通政策室長、経営企画担当参事、広報課長、まちづくりセンター担当参事、地域づくり推進課長、文化芸術振興担当参事、交通安全課長、高齢者支援課長、保健医療課長、国民健康保険課長、健康づくり支援課長、健康づくり支援課主幹、みどり自然担当参事、産業振興課長、商業観光課長、農業振興担当参事、都市計画課長、市街地整備課長、道路建設課長、道路維持課長、公園課長、教育総務部次長、社会教育課長、スポーツ振興課長、文化財保護担当参事		

【リーディングプロジェクトの方向性】

健康で幸せを感じながらいつまでもいきいきと地域で暮らすためには、充実した医療体制はもとより、市民一人ひとりが自分の心と体を大切にする健康意識の向上が重要となるため、歩くこと等を中心とした生涯を通じた健康づくり、体力づくりを進めていく必要があります。

また、人や自然とのふれあいは、心の豊かさや活力を育むことにもつながります。誰もが外に出て人や自然に触れ活動したくなるように、所沢の豊かな自然を生かした魅力的な散策路の整備や、人々が楽しみを感じる集いの場を増やすなど、「歩いて」「楽しんで」健幸長寿を実感できるまちづくりを進めます。

【令和元年度に実施した事業】

≪「主な取り組み」にあたる事業≫

3-1-1 主体的な健康づくりの推進（歩くこと等の健康的な取り組みによる生活習慣の改善）	
ところん健幸マイレージ事業	健康づくり支援課 国民健康保険課
3-5-1 スポーツ活動を通じた健康・体力づくりの推進（スポーツ活動を気軽に楽しめる環境づくり）	
所沢シティマラソン大会開催事業	スポーツ振興課
スポーツ教室開催事業	スポーツ振興課
健康体操推進事業	スポーツ振興課

≪「関連する取り組み」にあたる事業≫

1-1-1 地域コミュニティの充実（地域課題解決に向けた自発的な取り組み）	
地域づくり支援事業	各まちづくりセンター

1-4-1 自立した生活を継続するための取り組みの推進 （介護予防や重度化防止に向けた取り組み）	
介護予防普及啓発事業	高齢者支援課
高齢者スポーツ大会等開催事業	高齢者支援課
高齢者大学開催事業	高齢者支援課

4-2-3 みどりと水の保全（「水とみどりがつくるネットワーク」の構築）	
水とみどりがつくるネットワーク計画策定事業	みどり自然課
里山保全地域等指定整備事業	みどり自然課
所沢カルチャーパーク築造事業	公園課

5-3-1 にぎわい拠点の創出・活性化（新規・既存の観光拠点の整備・充実）	
「(仮称)所沢市観光情報・物産館」整備事業	商業観光課
東所沢公園改修事業（COOL JAPAN FOREST 構想事業）	公園課
観光拠点の整備・充実事業	商業観光課

5-3-2 にぎわい拠点のネットワーク形成（新たなにぎわい拠点・観光交流拠点間の回遊性の向上）	
インバウンド戦略推進事業	商業観光課

5-3-3 観光を軸としたブランド化の推進（食を通じた新たな魅力の創出や地産地消の推進）	
ヘルスツーリズム産業創出支援事業	商業観光課
地産地消推進事業	農業振興課
体験農場推進事業	農業振興課

6-1-2 所沢らしい景観まちづくりの推進（所沢らしい良好な景観の形成）	
景観まちづくり推進事業	都市計画課

6-3-4 歩行者・自転車環境の整備推進（バリアフリーに配慮した空間の整備）	
自転車レーン整備事業	道路維持課

【評価及び今後の方針】

令和元年度の取り組みに対する評価

●主体的な健康づくりの推進（歩くこと等の健康的な取り組みによる生活習慣の改善）

「トコロん健幸マイレージ事業」を1,000名対象に実施し、歩くことによる健康づくりを推進するとともに、令和2年度から開始する新たなマイレージ事業において、「トコロん健幸マイレージ事業」のコンセプトを継承し、事業費の抑制を図るとともに、スマートフォンでも歩数計測を可能とし、参加者数や参加期間の制限を無くすなど、「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」自らの健康づくりを生涯に渡り実践できるよう設計した。

●スポーツ活動を通じた健康・体力づくりの推進（スポーツ活動を気軽に楽しめる環境づくり）

トコロんウォークや所沢シティマラソン大会、各種スポーツ教室を開催することで、市民の健康づくりや人とのふれあいの場を提供し、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を図った。また、市独自の健康体操を、主に高齢者を対象に自治会・町内会館で地域の方の協力によって広めていくことで「健康寿命」を延ばし、健康で元気な地域社会の実現に向けて取り組んだ。

●地域コミュニティの充実（地域課題解決に向けた自発的な取り組み）

地域活動の支援拠点であるまちづくりセンターで、各地域の資源や歴史をめぐるウォーキングイベントを実施するなど、地域の特色を生かした健康づくりや体力づくりを推進し、また、地域住民が気軽に自身の健康チェックができるよう血圧計を設置した。さらに、プラスチック製品ごみの削減を目的として庁舎内に設置したウォーターサーバーを、熱中症対策を兼ねてまちづくりセンターにも設置し活用した。

●自立した生活を継続するための取り組みの推進（介護予防や重度化防止に向けた取り組み）

70歳以上の偶数年齢の高齢者を対象に「健やか生活アンケート」を実施し、介護予防・重度化防止・認知症予防の知識と運動等の日常生活における取組の普及啓発を図った。また、高齢者スポーツ大会や高齢者演芸大会等を開催し、スポーツや文化交流を通じて相互の親睦を深めることにより、生きがいを高めて市民の健康増進・介護予防・重度化防止に向けて取り組んだ。高齢者大学事業では、受講者が市の歴史や、文化、自然等について調べるため、現地を散策することなども行っている。大学でのクラブ活動ではハイキングやウォーキングなどを行っており、事業を通じて屋外での活動なども促進されている。

●みどりと水の保全（「水とみどりがつくるネットワーク」の構築）

本市の豊かな水とみどりについて、まちのにぎわいや魅力とつなぐ「水とみどりがつくるネットワーク計画」を策定し、関係各課と協力して散策マップを作成し、市のみどりや歴史・文化を多くの市民が触れる仕組みを推進した。また、所沢のブランドである「みどり」への理解と保全の意識向上を図るため、「みどりのふれあいウォーク」を毎年実施している。さらに、所沢カルチャーパーク築造事業では、市民が身近な自然と触れ合う場となる「自然環境保全型の総合公園」として令和3年度までの完成を目指し整備を進めた。

●にぎわい拠点の創出・活性化（新規・既存の観光拠点の整備・充実）

所沢市観光情報・物産館整備事業（COOL JAPAN FOREST 構想事業）では、本市の観光情報の提供や特産物PR・販売等の魅力発信拠点として令和3年5月の開業を目指して整備を進めている。本施

設から市内外の観光拠点への回遊性を生み出すことを目指しており、散策の拠点ともなるような運営を目指している。

東所沢公園改修事業（COOL JAPAN FOREST 構想事業）では、県内初のP—P F I（公募設置管理制度）を導入し、東所沢駅を利用してところざわサクラタウンへ訪れる方々の玄関口として、地域に根ざした公園としての役割に加え、来訪者にとっても憩いの場となるよう、整備を進めている。

●にぎわい拠点のネットワーク形成（新たなにぎわい拠点・観光交流拠点間の回遊性の向上）

インバウンド戦略推進事業では、一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団及び一般社団法人所沢市まちづくり観光協会の3者でインバウンド観光推進に関する連携協定を締結し、多言語化等、外国人にも分かりやすい観光地のPRを実施した。

また、事業者に対して、コミュニケーション方法等に関するセミナーや意見交換会を開催し、外国人観光客の受入れ側に対する支援をするなど、外国人観光客の受入拡大に向けた施策を実施した。

●観光を軸としたブランド化の推進（食を通じた新たな魅力の創出や地産地消の推進）

「クアオルト健康ウォーキング」を活用した観光振興を実施する「埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会」と協働して、「クアオルト健康ウォーキング」を県内で初めて実施し、観光と健康を融合した事業を展開した。また、地産地消推進事業では、農産物直売所等が掲載されたマップを作成し、市HPや市内各所にて掲載・配布することで、所沢産農産物のPRを図るとともに、近場の直売所を探す市民の出歩きを促進している。

●所沢らしい景観まちづくりの推進（所沢らしい良好な景観の形成）

良好な景観形成に向けて、個人宅の庭づくりを登録し公開している。登録した庭を掲載した「とことこガーデンマップ」を作成し、街歩きを楽しむ契機としている。また、所沢らしい景観を市民の推薦により景観資源として登録・公表することで、優れた景観を発掘・共有し、その維持保全に繋げている。さらに表彰された景観は、上記「とことこガーデンマップ」に掲載して、街歩きを楽しむ機会を提供した。

●歩行者・自転車環境の整備推進（バリアフリーに配慮した空間の整備）

歩道内における歩行者と自転車の接触事故軽減を目的として東所沢和田三丁目交差点から東所沢中央交差点の区間について自転車レーンを整備し、安心して安全な道路空間を創出している。

また、歩くことによる健康づくりを推進するためには、休息の場となるベンチの設置も必要である。東所沢駅からところざわサクラタウンへの歩行ルートとなる東所沢駅前線の歩道上に間伐材を利用したベンチを設置した。

●総評

「健幸長寿のまち」を目指す本市では、各所管がそれぞれの業務を遂行するなかで、市民が健康で幸せを感じながらいきいきと暮らしていくことに繋がる上記に掲げた施策をはじめとした様々な取り組みを行った。

昨年度発足した当プロジェクトで協議し連携を深めたことで、令和元年度は「健康寿命（※）の延伸」の重要性や、それぞれの関連性を理解し連携することにより生み出される相乗効果によっ

て、市民の健康に繋げていけることを改めて認識したことから、更に連携を強化して取り組んでいく必要がある。

(※) 健康寿命…埼玉県では、65歳に達した県民が健康で自立した生活を送ることが出来る期間、具体的には、介護保険制度の要介護2を障害発生時点ととらえ、要介護2以上になるまでの期間を健康寿命としている。

今後の方針

元気でいきいき“健幸長寿のまち”の実現においては、市が歩くこと等による健康増進の取り組みを進めるだけでなく、市民が思わず歩きたくなり、立ち止まって自然に触れてみたくなる魅力的な散策路等を市が整備し、また、ウォーキングイベントや各所管が作成したマップ等を通じて、市民の主体的な行動を促していく必要がある。

新型コロナウイルス感染症の影響によって、これまで市民が自身で行っていた活動や地域での活動などが自粛されているなかで、適度な歩きにより免疫力を高め健康増進を図ることは、より一層重要である。当プロジェクトを通じ、“健康”をキーワードとしてソフト部門とハード部門が連携を強化し、感染予防に配慮しながら市民が楽しんで出歩けられるよう各種施策に取り組んでいくとともに、アフターコロナにおいても市民が魅力を感じながら外出できるよう、様々な角度から健幸長寿の実現に向けた取り組みを進めていく。

【SDGsへの貢献】(あてはまる項目の番号を囲んでください)

- | | | | |
|---|--------------------|----|-------------------|
| 1 | 貧困をなくそう | 10 | 人や国の不平等をなくそう |
| 2 | 飢餓をゼロに | 11 | 住み続けられるまちづくりを |
| 3 | すべての人に健康と福祉を | 12 | つくる責任 つかう責任 |
| 4 | 質の高い教育をみんなに | 13 | 気候変動に具体的な対策を |
| 5 | ジェンダー平等を実現しよう | 14 | 海の豊かさを守ろう |
| 6 | 安全な水とトイレを世界中に | 15 | 陸の豊かさを守ろう |
| 7 | エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 | 平和と公平をすべての人に |
| 8 | 働きがいも経済成長も | 17 | パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9 | 産業と技術革新の基盤を作ろう | | |